

各位

2017 年 10 月 18 日

公益財団法人 SBI 子ども希望財団

「子育て支援フォーラム in 茨城
～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」
開催のお知らせ

公益財団法人 SBI 子ども希望財団（所在地：東京都港区、理事長：田淵 義久、以下「当財団」）は、公益社団法人日本医師会、一般社団法人茨城県医師会と共同で「子育て支援フォーラム in 茨城～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

記

「子育て支援フォーラム in 茨城」開催概要

日時： 2017 年 11 月 12 日（日）13：00～16：30

場所： 茨城県メディカルセンター1 階研修講堂
茨城県水戸市笠原町 489

参加費： 無料（先着 300 名）

プログラム概要：

基調講演： 「メディア漬けで壊れる子どもたち～スマホ社会の落とし穴～」

座長：温泉川 梅代（日本医師会常任理事）

講師：清川 輝基（NPO 法人子どもとメディア代表理事）

シンポジウム： 1 「虐待予防のための地域と社会の役割～乳幼児精神保健の視点から～」

渡邊 久子（世界乳幼児精神保健学会理事/小児精神科医）

2 「虐待をうけた子どもの社会性の発達と、子どもを産み育てる世代になるまで」

星野 崇啓（さいたま子どものこころクリニック院長・小児精神科医）

3 「子の幸せのために必須な妊産婦メンタルヘルスケア」

木下 勝之（日本産婦人科医会会長）

4 「今日の子ども家庭と新たな社会的養育の現状・課題」

加賀美 尤祥（社会福祉法人山梨立正光生園理事長／山梨県立大学人間福祉学部特任教授）

詳しいプログラム、ご参加申込方法等は、別添資料もしくは下記よりご覧ください。

【子育て支援フォーラム in 茨城～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～】

http://www.med.or.jp/people/info_event/seminar/005325.html

本フォーラムでは、増え続ける児童虐待について「社会全体としてどう取り組んでいけばよいか」というテーマを掲げており、児童虐待の現状をご理解いただくと共に、次世代の健全な育成を目指すという観点からも広く一般の方にもご参加いただきたいと考え、2011年より毎年全国各地で開催し、多くの方にご参加いただいております。

当財団では、今後も、子どもたちが自分の可能性を追求し、将来立派に自立していけるような支援活動を目指し、子どもたちの入所施設の改善・充実はもちろんのこと、子どもたちの育成にも焦点を当てた活動を展開してまいります。

【公益財団法人 SBI 子ども希望財団 概要】

SBI 子ども希望財団は虐待を受ける等厳しい境遇に置かれた子どもたちの福祉向上を目的に2005年10月に、SBIグループの社会貢献活動を行う財団法人として設立され、2010年3月に公益財団法人へ移行しました。児童福祉施設等への寄付や児童養護施設の職員を対象とした研修、施設退所後の子どもたちの自立支援のほか、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止啓発活動も積極的に行っています。

SBI 子ども希望財団のホームページ：<http://www.sbigroup.co.jp/zaidan/>

以上

【お問い合わせ先】

本プレスリリースについて：

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

子育て支援フォーラム、SBI 子ども希望財団の活動について：

公益財団法人 SBI 子ども希望財団 03-6229-1003



子育て支援フォーラム in 茨城

子育ての応援と ゼロ歳児からの虐待防止を 目指して

その子は、
助けを求めることを
知らないかもしれない。



イラスト 伊藤史織
2017年度 オレンジリボン運動
公式ポスターコンテスト
SBI子ども希望財団賞受賞作品

児童虐待は依然として増加傾向が続き、大きな社会問題となっております。
特に死亡児の低年齢化、中でも0歳児に集中していることが明らかになり、虐待による子どもの死亡を予防する
ためには従来の早期発見・早期対応に加え、その発生を予防する取り組みが必要です。
そのためには、妊娠・出産・子育てに対する具体的対応を含め社会全体で取り組む必要があります。
次世代の健全な育成という視点から、一般市民等を対象としたフォーラムを開催し、
児童虐待防止に向けた啓発活動、情報提供を行います。

参加費
無料

先着

300名

主催

公益社団法人日本医師会
公益財団法人SBI子ども希望財団
一般社団法人茨城県医師会

後援

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本小児科医会、茨城県、茨城県教育委員会、茨城県警察、水戸市、水戸市教育委員会、茨城県病院協会、茨城県精神科病院協会、茨城県精神神経科診療所協会、茨城県精神保健協会、茨城県歯科医師会、茨城県薬剤師会、茨城県看護協会、茨城県学校保健会、茨城県小児科医会、茨城県産科婦人科医会、茨城県栄養士会、茨城県助産師会、茨城県保育協議会、茨城県PTA協議会、茨城県私立幼稚園・認定こども園連合会、いばらき被害者支援センター、いばらき思春期保健協会、茨城県弁護士会、茨城県臨床心理士会、全国児童養護施設協議会、全国母子生活支援施設協議会、全国乳児福祉協議会(予定)

日時

平成29年
11月12日(日)
13:00-16:30

場所

茨城県メディカルセンター
1階研修講堂

※事前のお申し込みで託児施設(定員10名)が
ご利用いただけます。[託児申込締切: 11月3日(金)まで]

参加ご希望の方は、裏面の申込書にご記入の上、郵便またはFAXにてお申し込みください。

子育て支援フォーラム in 茨城 ～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～

日時：平成29年11月12日(日)
13:00～16:30

場所：茨城県メディカルセンター1階研修講堂

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町489

TEL:029-241-8446

HP: <http://www.ibaraki.med.or.jp/>

◆バス・・・水戸駅から約20分、水戸駅北口8番乗り場から「本郷」または「払沢」の表示がある「茨城交通バス」・「関東鉄道バス」に乗車、「メディカルセンター前」で下車

◆車・・・常磐自動車道「水戸IC」から約15分、北関東自動車道「茨城町東IC」から約10分、「水戸南IC」から約10分



プログラム

司会：江原 孝郎(茨城県医師会理事)

1. 開 会13:00

2. 挨拶13:00～13:10

横倉 義武(日本医師会会長)、諸岡 信裕(茨城県医師会会長)

3. 基調講演13:10～14:00

座 長：温泉川 梅代(日本医師会常任理事)

講 師：清川 輝基(NPO法人子どもメディア代表理事)

「メディア漬けで壊れる子どもたち～スマホ社会の落とし穴～」

4. シンポジウム14:00～15:40

座 長：石渡 勇(茨城県医師会副会長)、山脇 英範(茨城県医師会常任理事)

(1) 渡邊 久子(世界乳幼児精神保健学会理事/小児精神科医)

「虐待予防のための地域と社会の役割～乳幼児精神保健の視点から～」

(2) 星野 崇啓(さいたま子どものこころクリニック院長・小児精神科医)

「虐待をうけた子どもの社会性の発達と、子どもを産み育てる世代になるまで」

(3) 木下 勝之(日本産婦人科医会会長)

「子の幸せのために必須な妊産婦メンタルヘルスケア」

(4) 加賀美 尤祥(社会福祉法人山梨立正光生園理事長/山梨県立大学人間福祉学部特任教授)

「今日の子ども家庭と新たな社会的養育の現状・課題」

5. 討 議15:45～16:25

6. 閉 会16:25～16:30

田淵 義久(SBI子ども希望財団理事長)

参加ご希望の方は、この申込書にご記入の上、郵便またはFAXにてお申し込みください。



はがき・Eメールによる
申込みも受け付けております。

はがき・Eメールには必ず 1. 郵便番号 2. 住所 3. 氏名
4. 電話・FAX 番号を忘れずにご記入の上、お送りください。

申込締切：平成29年11月10日(金)必着

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

※参加確定者の発表は参加票の発送をもって代えさせていただきます。

※フォーラム当日は、参加票を忘れずにお持ちください。

郵 送 〒310-0852 茨城県水戸市笠原町 489
茨城県医師会

FAX 029-243-5071

E-mail gyakutai@po.med.or.jp

HP <http://www.ibaraki.med.or.jp/>

お問い合わせ/029-241-8446(茨城県医師会)

[単位取得予定] ○日本医師会生涯教育講座参加証 ○日本産婦人科医会研修参加証 ○日本産科婦人科学会研修参加証明(e医学会カードをご持参ください)

参加申込書

子育て支援フォーラム in 茨城

子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

(平成29年11月12日(日)開催)

住 所 (所属)	〒	—			託児施設のご利用 有・無
					託児人数 / 託児年齢
氏 名		電話番号	—	—	男児 人 / 才 ヶ月
		FAX	—	—	女児 人 / 才 ヶ月
住 所 (所属)	〒	—			託児施設のご利用 有・無
					託児人数 / 託児年齢
氏 名		電話番号	—	—	男児 人 / 才 ヶ月
		FAX	—	—	女児 人 / 才 ヶ月

※ボールペンでご記入ください。※参加希望者の個人情報、第三者に提供することはありません。※電話番号は常時連絡可能な番号を記載ください。
※3名以上の参加ご希望の方は、この用紙をコピーしてお申し込みください。

↓ FAX送信 029-243-5071 ↓